

1997年に島根県で初めてとなる婦人科の外来専門（産婦人科医師がお産を取り扱わないスタイル）のクリニックを開業されて22年間、松江市内外から来られる多数の夫婦と向き合ってきた内田クリニックの内田昭弘院長にお話を伺いました。



内田クリニック
 内田昭弘院長



1. どう家族になっていくか

「うちは不妊治療に来られる人が大半ですが、みなさんに『妊娠がゴールではない』と言っています。」「極端な話、生まないという選択の上で『子どもを育てる親』にはなれる方法もあります。」「女性のみが不妊の原因である場合は約40%。また、治療者の約半数が、1人目を自然妊娠しても2人目以降で不妊治療が必要となる人とされている。」「自分に関係ないと思わず、男性も女性も年齢に関係なく、自分事として家族の在り方を考えて具体的にイメージしておいてほしい」と院長は言います。

2. 情報をもってほしい

内田クリニックでは、3カ月ごとのペースで「妊活セミナー」を開催しています。「ほんとはね、うちのクリニックに来たことがない人にもセミナーに来てもらって、情報を得てほしいと思っているんですよ」と語る院長。もちろん、妊娠も出産も子育ても年齢的に早ければ早い方がいいですよ。ただ、そうでない選択をする人にも、妊娠、出産、育児の知識をしっかり持ったうえで選択をしてほしい。そして一人一人が『自分はどんな家族をつくりたいか』を考えて将来設計をしていくことが大切だと思っています。」

3. 夫は“協力”でなく“一緒に取り組む”スタンスが必要。

不妊治療だけでなく子育てでも結婚生活も同じ。内田クリニックでの夫の通院率は、1997年の41%に対し2016年は84%と約2倍になっています。「うちでは奥さんが一人で頑張っているように見える場合には、『旦那さんにも来てもらってくださいね』と呼びかけています。一人じゃ難しい場面がたくさんありますから、妊娠だけでなくその後の子育てでもね。だからパートナーと一緒に考えて家族をつくる、家族になることに取り組んでもらいたいと思っています。」

子どものことで頭がいっぱいの時って、「こうあるべき」と視野がせまくなったり、とらわれた考え方になる時ありますよね



たしかに。夫婦も家族、親子も家族だし、人の数だけ正解があるのね

今後のセミナー予定

- 第1回 11月2日(土)
- 第2回 11月16日(土)
- 第3回 12月7日(土)

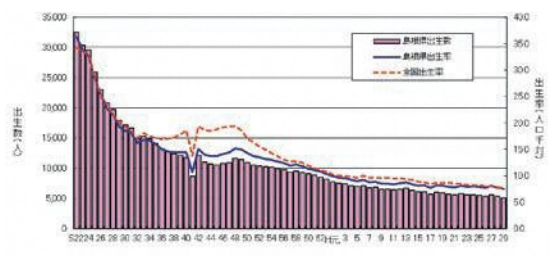
詳しい内容等はHPをご確認ください▶ <https://www.uchida-clinic.info/>

4. 情報をもつ

<出産に関するデータ>

1. 出生数・出生率(人口千対)の年次推移

平成29年の出生数は5,109人で、前年の5,300人から191人減少し、出生率(人口千対)は7.5(全国第21位)で、前年の7.7を下回った。出生数、出生率ともに昭和46～49年の第2次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている(図1)。



2. 母の年齢(5歳階級)別にみた出生数

出生数を母の年齢(5歳階級)別にみると、30歳～34歳の階級のみが前年より増加し、その他の各階級では減少した(表2)。

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	27年～26年	28年～27年	29年～28年
総数	5,359	5,551	5,300	5,109	192	△251	△191
～14歳	1	-	1	-	△1	1	△1
15～19	69	57	70	38	△12	13	△32
20～24	471	539	472	459	68	△67	△13
25～29	1,659	1,542	1,537	1,361	△117	△5	△176
30～34	1,858	1,985	1,769	1,864	127	△216	95
35～39	1,055	1,156	1,152	1,136	101	△4	△16
40～44	238	266	292	247	28	△26	△45
45～49	8	6	7	4	△2	1	△3
50歳以上	-	-	-	-	-	-	-

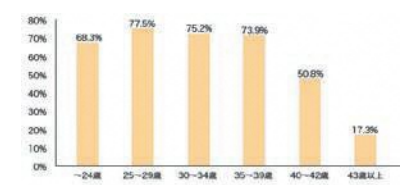
出典：島根県HP

<不妊治療に関するデータ>

1. 不妊治療における妊娠率

年齢別での妊娠率は(1997.4～2018.12)

初めて当院を受診された時の年齢別での妊娠率です。タイミング、人工授精、ARTのすべての治療法を含みます。30代までの人は約7割が妊娠されています。



2. 人工授精における妊娠データ

年代別治療成績(1997.4～2018.12)



*年齢の上昇とともに妊娠率は少しずつ低下し、反対に流産率は高くなっています。
 *患者さん一人あたりでみると30代後半までと40歳以上では妊娠率が2倍程度違っています。

出典：内田クリニックHP